

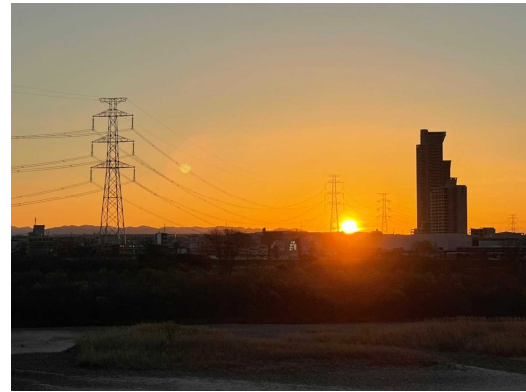
1月 モニターレポート		担当出張所	高槻出張所
担当区間	檜尾川合流点～大阪府京都府境界(阪急大山崎駅付近)(右岸28.2～35.4km)		
モニター実施日時	令和3年1月1日(金) 6時30分～7時15分 令和3年1月25日(月) 14時00分～15時00分		
天候	両日共に晴れ☆		

(見出し)

新年あけましておめでとうございます。

ご来光☀️(1月1日)

長雨の後の晴れ間(1月25日)



年末に大寒波が来、氷が張る寒い朝にもかかわらず、たくさんの方が御来光を見に堤防に集まっていた。晴天で空が澄みわたり、新年を迎えた思いもあってか、清々しい気持ちになった。このまま帰宅するのがもったいなく、朝日を見ながら散策した。多くの方も同じなのか堤防はちょっとした渋滞に。

今年の1月は寒い日が多く、また長雨も。

25日は久しぶりの晴れ間でしかも暖かい日。たくさんの方が散歩、ウォーキング、サイクリング、バードウォッチング等、野外を楽しんでいた。

以前から気になっていた鶴殿の湿地帯の工事現場を見に行った。夏場は豊かにヨシ原が広がっていた所になぜ工事？ダンプカーやパワーシャベルカーが動いている。土砂を入れたり、掘り起こしたり、自然保全に繋がっているのか、理解できてないため不安になった。工事が必要な理由が知りたい。





左の写真の両側は湿地帯が広がっていて夏場はこの辺り一帯、ヨシにおおわれる所である。看板には、湿地植生物が回復するように整備しています！と書かれている。何のための工事だろう？



冬の枯れたヨシ！

2ヶ所、ヨシが刈り取られ、広場になっていた。今年のヨシ原焼きは中止になった（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）し、何か理由があるのか？と眺めた。



着々と第二名神高速道路の工事が進んでいる。ドンドン地面をたたく音が住宅地にまで響いている。



工事現場の近くに幼稚園と保育所とが統廃合され廃園になった幼稚園が見えた。立派な建物だが、どうなるのか、工事がされているので、なくなるのか等寂しく思った。



冬で雑草も茂らず、見通しが良くなったが、ゴミも目につくようになった。大型のゴミはなかったが、ポイ捨てのように道路わきにゴミが捨ててあった。新聞紙、空き缶、衣類、ペットボトル、マスク等が捨てられてあった。

カイツブリ、カワウ、カモ、アオサギ、ジョウビタキ、ツグミを見、ヒバリの鳴き声を聞いた。

(意見・感想・処置等)

1月のレポートありがとうございます。

御来光が写真で見ても眩しいくらいに輝いていて、とても綺麗です。昨年に引き続きコロナウイルスが終息しない状況ではありますが、御来光のように明るい気持ちでいることが大事だと思います。そしてコロナウイルスが一日でも早く終息することを願い、活気ある淀川になってほしいです。

鵜殿地区の高水敷は、昔と違い、干陸化によりヨシ原が減少しています。今実施している工事は、高水敷を掘って地盤の高さを下げ、洪水時の水が入りやすくして、湿地性のヨシなどの植生を回復させるためのものです。おっしゃる通り、土砂を入れたり掘ったりしている工事をみると、在来植物の生息に悪影響が出ないか心配になりますよね。しかし掘った表土にはヨシの根が含まれており、またその表土を撒くことで、ヨシが早期に回復します。ヨシ原の保全事業の一環ですのでご安心下さい。夏頃、ヨシが一面に広がっている光景が楽しみです。

鵜殿の2箇所のはげは「防火帯除草」です。鵜殿ヨシ原の中を、5箇所、20m幅で草刈りしています。ヨシ焼きが無い場合でも、火事等があった際に、延焼するのを防止する目的で行っています。他にも、淀川河川公園の野草地区など、丈の高い草が広範囲に茂っている箇所などでも、冬場の防災対策として、防火帯除草を行っています。

では来月のレポートも宜しくお願いします。